

えでみん

立川と語ろう 立川に生きよう

March 2014

Écoutez Bien Vol.32 No.352

3

立川発!今、地球に起きていること

表紙の人 / 井上レディースクリニック(富士見町)





早春をいただく

Feuillantine de Sawara et Fukinotou, printanière.

初春！ 鱈とフキノトウのフィアンティーヌ 山菜とえごまのソース

レギャン東京 マエストロシェフ
山岸一茂

朝夜は少し肌寒い今日この頃、皆様お元気ですか？ 昨年8月からスタートした私の料理コラムも分岐点に差しかかりました。あと半年。月日の経つのは本当に早い。3月が近づいてきますと、街のショーウィンドーが春の装いになってきます。飲食業界も先取りビジネスですから、新年明けた時から春メニューを考えて行きます。旬のお野菜・魚貝類で観た目も華やかになります。

今回の料理は、春の魚の代名詞といわれている鱈です。日本では照焼き・塩焼き等で一般的ですが、最近は欧米でもよく食べられるようになってきました。その理由は鱈に含まれている栄養素。DHA・EPA・ビタミンDなどを豊富に含み、骨の健康維持に効果があるといわれています。日本は島国ですから新鮮な海の幸がたくさんありますが、白身の高級魚より青魚の方が身体に良いとされています。今回の料理はこの鱈をこんがりロースト。フキノトウ・山菜・えごま・クコの実をソースに加え、網の目のライスペーパーで挟み、フィアンティーヌ仕立てにしました。滋養強壮等の薬膳効果もあります。フレンチをベースにして和食・中華・エスニックをフュージョ

ンさせました。箸でも召し上がれます。日本酒・白ワイン・焼酎等、赤ワイン以外でしたらどんなお酒にも良く合います。

さて今回は旬について一言。寒い冬の季節。雪の下には春を待つたくさんのお野菜達がいます。雪溶けを待って一斉に芽を出します。それが春野菜。フキノトウ・ゼンマイ・ワラビ・ウド・たらの芽等。少しアクの強い個性的な野菜ばかり。このアク、エグミは四季のある日本人にとっては大切な食材である事、皆様ご存知ですか？ 春先に旬の野菜を食するという事は、これから暑い夏に向かうにあたり、身体の中に夏バテ予防の栄養素を蓄えることになります。旬を食べることで身体がこれからの準備をする。だから旬の食材は大切なのです。ただ山菜等は下処理が少し大変ですからなかなか若い奥様方は手を出しません。実家のお祖母さんの所に行って作り方を習いましょう。そして次代を担って下さる子供達に旬の食材をたくさん食べさせて下さい。これは身体の発育、特に脳の発達にも良い影響を及ぼします。また話が尽きなくなって来ましたのでこの続きは次号でさせていただきます。それでは皆様、ボナペティ！

いま地球に 起きていること

北半球の平均気温が過去4000年で最高になったことの意味

大きな台風による甚大な被害。一方で凍りつく北ヨーロッパ。異常気象という言葉が耳馴染んだ今、いったい地球に何が起きているのか。

— 北大では何を専攻されていたのですか？

小端 工学部資源開発工学科でした。僕が中学生の頃温暖化が問題になっていて、環境問題について研究して社会に貢献したいなと思っていました。大学に入った時もそういうことをやりたかったのですが、成績に応じて好きな学部に行けるというシステムなのに、大学1、2年の時あまり勉強しなくて(笑)。それなら資源問題と温暖化問題、エネルギー問題は密接に関係しているので工学部へ。

— 大学院からは？

小端 修士課程の時にテキサスA&M大学で4000万年とか5000万年前の気候変動について研究していました。恐竜が絶滅した少し後の時代です。その頃の地球は地球全体が暖かくて、南極にも北極にも氷はなかった。その後地球はずうっと寒くなってきていて、3500万年前に南極に氷床ができ、北極にもでき南極の氷床も大きくなって、1200万年前から1万年前くらいまで暖かさ寒さを繰り返してきました。で、人間が二酸化炭素を出すようになって、今の地球温暖化へと。

— このまま温暖化するとその大昔の地球に戻ってしまうんですか？

小端 地球はいろいろなファクターで気候が決まるので、単純には言い切れませんが、研究者の中にはそういう人もいます。人間はまだずっと二酸化炭素を出し続けるわけですが、それも1万年、2万年経てば海に吸収されて減ってまた寒くなる。ですから短期的には暖かくなりますが、いつか人間がいなくなったら元のシステムに戻ります。

— その長い時間スケールで考えれば今の温暖化も大したことのないように聞こえますが、

今生きている人間にとったら…。

小端 そうです。今の人間生活を持続するためには自然のシステムを壊さないようにしないと、持続は不可能になるかもしれない。人間が二酸化炭素を急速に入れているので、非常に大きな影響を及ぼしますよね。

— アイスコアの研究はどこで始められたのですか？

小端 テキサスからサンディエゴのスクリプス海洋研究所です。そこで基本的にはグリーンランドのアイスコアの研究をしていて、2010年第52次南極観測隊でドームふじヘサンプリングに行きました。

— ドームふじですか!大変だったでしょう？

小端 そうですね(笑)。結構な肉体労働でした。

— 今年はしらせが接岸してきましたが毎年ドキドキします。寒かったですからね。

小端 そうですね。太陽活動が弱まっているので、もう少し寒くなるかもしれません。ただおもしろいことに、太陽活動が弱まるとグリーンランドは暖かくなるんですよ。

— え!そういえば、グリーンランドの氷が溶けたという映像を何回も見ました。

小端 ええ。一昨年はとても暖かくて、グリーンランド全域に渡って、氷床の一番高いサミットと呼ばれる所が溶けた、100年に1度しかないようなことが起きたと話題になりました。

— それはなぜ？

小端 北大西洋振動とか北極振動とか言われる大気循環があって、100年、200年昔の気温を調べていた研究者が、コペンハーゲンの気温が高い時はグリーンランドは寒い、逆にコペンハーゲンが寒い時はグリーンランドは暖かい

というシーソーパターンを見つけていたんです。観測網が広がって、実は結構大きい大気循環の一部であって、太陽活動の変動が1つの原因であると言われていました。

— それで太陽活動が弱まっている今、グリーンランドは暖かいんですね?でもそれは二酸化炭素による温暖化のせいだと言われていたように思いますが…。

小端 太陽活動の影響だということ自体がものすごく新しい発見なので。

— 先生が昨年3月に発表された論文が世界初ですか？

小端 グリーンランドの気温変動に関しては僕が最初だと思います。ただ、温暖化の影響も当然ありますので、太陽活動が全てとは言えない。単に温暖化だけではなくて、太陽活動が弱まることでグリーンランドはダブルパンチを受けています。全球的にはあまり影響ないのですが、グリーンランドや南極の一部が暖かくなったり、北ヨーロッパが通常以上に寒くなったり、極地的には大きな影響があります。

— 二酸化炭素による温暖化の中での寒冷化ということは、中和される？

小端 温暖化が弱まる可能性はあります。現に気温が右肩上がりです上昇していたのに、その線がなだらかになっている。でも太陽活動というのはいつも変動しているので一時的に下がったからといって人間が二酸化炭素の排出を止めなくていいというわけではないです。逆に、太陽活動に伴う大気循環でグリーンランドが溶けて、予想もしなかった海水循環の変化が起こるかもしれない。これから数十年というレベルですが、海水準に影響することも想定される。北大西洋は海の循環の重要な場所で、も



小端拓郎さん

国立極地研究所 特任助教 博士(海洋学)

静岡県出身。北海道大学からテキサスA&M大学で修士課程を、スクリプス海洋研究所でアイスコアの研究を始めて博士号取得。グリーンランド過去1万年のアイスコアから気象変動のメカニズムを探り、昨年10月15日「2010年までの過去21年間の北半球平均気温が過去4000年で最高値になった」ことを示した論文が、欧州地球物理学連合誌 [Climate of the Past] に掲載された。

結論としては、やはり二酸化炭素は、地球の4000年の気候変動を見ても温暖化に寄与しているということです。一番暖かいつて、何度なんだろう？

小端 それが、絶対気温を言うのがむずかしくて、何年の基準から何度暖かいというのは言えるんですが…。そういう言い方をすれば、1961年から1990年の平均より0.4度高い。過去4千年の平均気温

より0.71度高い。4千年全体の気温の変動は0.16度なので、0.71度は過去の自然起源の変動よりはるかに高い。

— 私のように素人は、ここで「このせいで何が起きます」みたいな予測がしたくなるわけですが、専門家の先生はここでもやはり何も言えないわけですよね？

小端 1つ言えることは、現在私たち科学者が理解している気候変動のメカニズム、原因と結果がありますよね?その原因が自然起源の場合には火山活動、太陽活動の変動、温室効果ガスの変動、エアロゾル、地球軌道の変動。それらが過去4000年を考える時重要になってくるのですが、それらで過去の変動を理解できたということは、未来の予測をした場合、今科学者が予測していることはおそらく正しいだろうということです。

— 予測されることというのは例えば？

小端 台風のサイズが大きくなるとか、豪雨が増えたりとか海水準が上がるとか。二酸化炭素は最終的には減らさなければいけない。しかしすでに相当量排出されていて、今仮に完全に止めたとしても気温が暖まっていくというのは保証されています。ですから起こる未来に

対してアダプテーション、適応という部分が非

常に重要になってきます。

— 先生の今後の研究はどこへ進んでいくのでしょうか？

小端 今書いている論文では、仮に太陽活動が弱くなった時にグリーンランドの気温がどれだけ上がるのかということを書きたいと思っています。最終的には、今のところ過去4000年ですが、ドームふじの氷床コアを使って過去1万年の気温を復元して、北半球と南半球の同じような変動のシグナルを見出した人はまだ誰もいないので、それを探したいと思っています。

— 最終的には先生の研究は未来の大きな社会貢献につながるんですね。

小端 僕は以前、地球環境戦略機関で気候変動と人間社会について研究をしていました。気温復元をした上で、それが過去、人間社会の発展にどのような影響を与えてきたかということを見ると、人間社会が今後自然のシステムとどのように調和を築いていけばいいかが、十分な証拠から研究できると思います。

— 発展途上国はまだ二酸化炭素を出さざるをえないですよね？

小端 人間社会の発展は二酸化炭素の排出を伴います。一番重要なことは持続可能な社会を作ることです。二酸化炭素に限らず、自然のシステムの中でプラスマイナスゼロにしていくのが理想ですが、人間社会はまだ発展している時代です。発展途中は、自然からもらうばかりの存在で、地球に返していけてない。二酸化炭素もまっ止めることが大事ですが、平等・公平ということも重要で、発展途上国に止めさせることはできません。より排出の少ない発展方法を選んでもらうよう助けていって、上昇を極限まで減らすことが大事ですね。それにはかなり時間がかかります。

— どの国も努力はしているのかもしれませんが、先の長い話ですね。

小端 でも悪いニュースばかりではないですよ。二酸化炭素が増えたからといって人間社会がなくなってしまう、文明がなくなっていくことを言うだけの十分な証拠はないというのがいいニュースです。

街を歩けば
出会いの輪を広げて

春色に、 たちがわ!

♪春を彩ってみませんか?♪

辛夷の白、ケヤキ若葉の萌黄色、春霞に煙る青空、黄色い菜の花、淡い桜色…
写真を撮るのもいいけれど、スケッチブックに自分だけの立川を。

昭和記念公園の木々を春一番が揺らすと、春はもうそこまでやってきています。
根川の桜の幹がほんのり赤く色づいて、残堀川の菜の花も黄色いつぼみを膨らませ、
瑠璃色のカワセミが水面をツイツイッと飛んでいきます。
玉川上水の水がやわらぎキラキラと光を帯びて、桑にはつやのある黄緑色の葉が。
裁判所の南側には立派な袴をしつらえた土筆がスクスク伸びています。
立川駅北口のケヤキ並木に若葉が芽吹き、シネマ通りは花でいっぱい!

文房具の進化はすばらしい。でも、ほら、色鉛筆。
みんな一度は使ったことがあるはずの、きれいで、懐かしくて、
持っているだけで幸せな気持ちになるアイテム。
色の名前を知るだけで、世界が広がる気がします。

※ 価格はすべて税抜き

カツミ製
国鉄車両色 色鉛筆24色
3600円
立川では 鉄道模型専門店
マイホビーキョーサンで
購入できます



国鉄車両色の色見本帳
ここから色鉛筆の色を選んだそうです



ファーマー
カステル製
色鉛筆 4000円
(撮影協力:
ホワイトハウス)



コロリックスボーイ
色鉛筆 3000円
(撮影協力:
ホワイトハウス)

アートグリップ
油性色鉛筆24色 4800円 (上段左)
アートグリップ水性色鉛筆24色
4800円 (上段右)
ポリクロモス色鉛筆24色 7200円 (中段左)
デューラー色鉛筆24色 7200円 (中段右)
カラーグリップ色鉛筆24色 3000円 (下段)
ジャンボグリップ色鉛筆12色 3000円
(中央の12本)
(以上はすべてファーマーカステル製
撮影協力:立川ロフト)



ファーマーカステル
230周年記念
デューラー水彩色鉛筆200色
世界で230セットの限定販売。
立川にはこの1つだけ。76000円
トンボ色辞典72色木箱入り 12000円
現在販売されているのは紙箱入り
(撮影協力:ホワイトハウス)





夢中人!

②

自作の釣具で巨ベラを上げる



ひがしさん（柴崎町）

昭和43年創業、地元に基づいたお肉屋さん「ひがしミート」店主。手作りの味にこだわり、手間を惜しまない。コロツケなどの揚げ物に使う油もオリジナル。

「釣りはフナにはじまりフナにおわる」という格言がある。中でもヘラブナ釣りは、経験に裏打ちされた技術を要することから、難易度が高い釣りのひとつとされている。

友人の誘いでヘラブナ釣りを始めたひがしさん。これがおもしろ楽しく、たちまち虜に。こうなると凝り出すのが釣りの道具。専門店をまわってみても欲しいと思える品が見当たらない。仮にあったとしても、おいそれと手が出せないほどの値。「そんなら、自分でこしらえちまおう」。釣具になるような枝木はないかとあちこち捜し歩くも、自分好みの枝ぶりの材を見つけ出すのは容易ではない。「たまにこれはってのがあんのよ。だけど、そういうのに限っての他人ん家の庭に生えてやがんだ（笑）」。時間をかけてコツコツ集めてきた材でこれまで造ってきたのは、竹の根っこを環状に曲げたタモ、廃品の桐タンスの板を削ったウキ、真竹をくり抜いたウキ筒、矢竹の枝の形をそのまま活かした竿掛け、水面の高さによって竿の角度や方向を変えられる可動式の万力（竿受け）など。いずれも廃材から生まれたものとは思えない出来栄。その他にもまだ、乾燥のため寝かせている材がある。次はどんなこだわり釣具が編み出されるのだろうか。手間ひまかけて造り込んだ道具で、更なる大物を釣り上げる。そこに自作釣具の醍醐味がある。